

◎ 特別区の区割り (案)

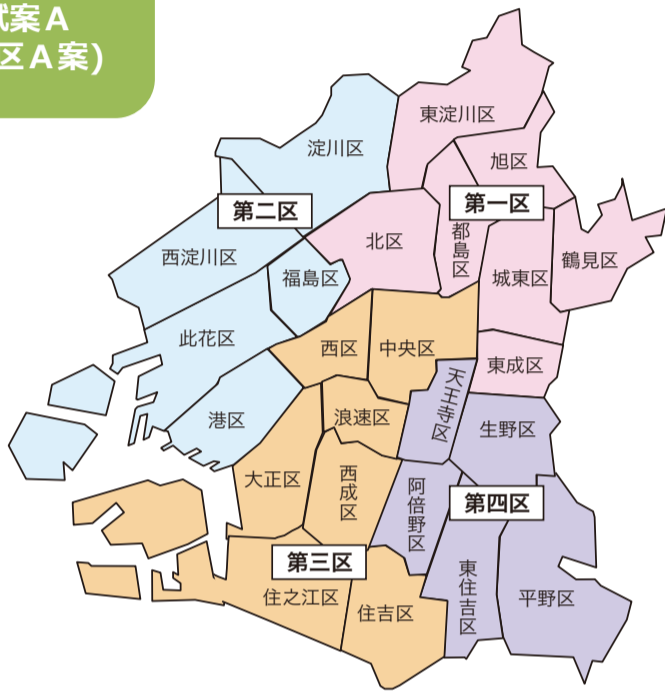
※区名(第一区～第六区)は仮称です

【基本的な考え方】

- ・ 各特別区が独立した基礎自治体として住民に必要なサービスを安定的に提供できるよう、区間の財政状況の均衡化を最大限考慮する
- ・ 各特別区間における将来推計人口(平成47年(2035年)を想定)の格差を概ね2倍以内とする
- ・ これまで地域において築きあげてきたコミュニティを考慮し、過去の合区・分区の歴史的な経緯を踏まえる
- ・ 特別区内における住民の円滑な移動や住民間の交流を確保できるよう、鉄道網の接続や商業集積を考慮する
- ・ 災害対策について、防災上の視点から出来る限り考慮する

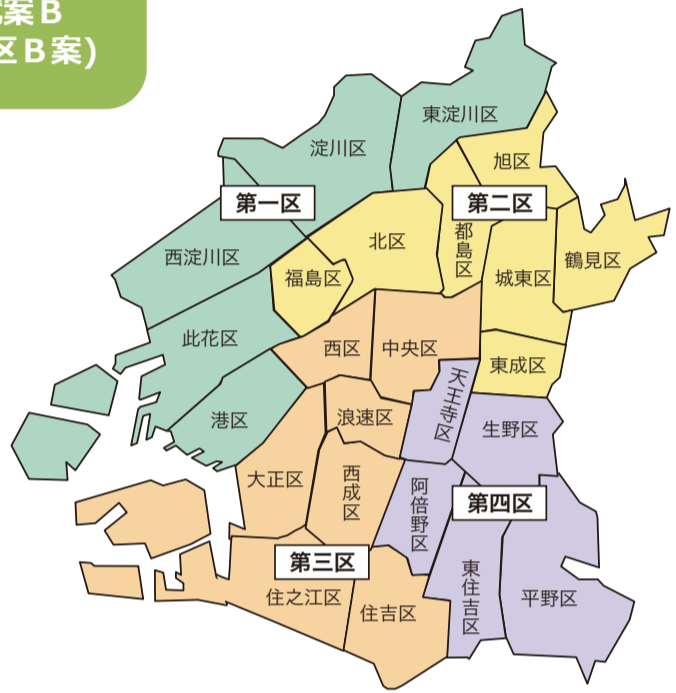
※区の名称や本庁舎の位置については、今後、協議会における議論を踏まえたうえで、案を提示します。

試案A
(4区A案)



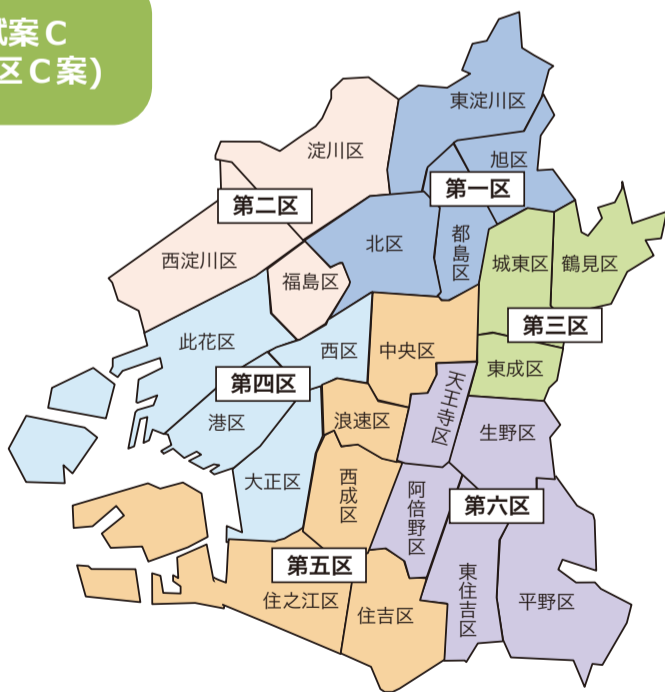
	将来推計人口(平成47年(2035年))
第一区	787,233人
第二区	444,351人
第三区	623,666人
第四区	554,067人

試案B
(4区B案)



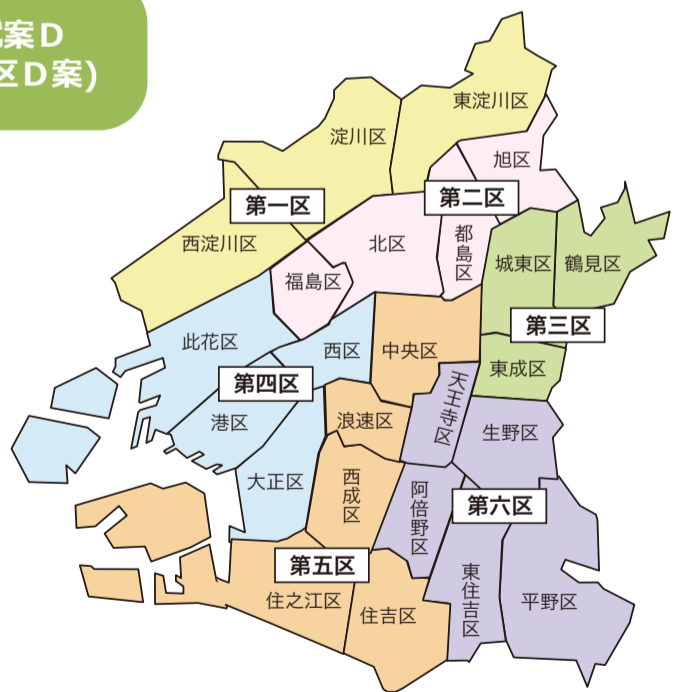
	将来推計人口(平成47年(2035年))
第一区	529,281人
第二区	702,303人
第三区	623,666人
第四区	554,067人

試案C
(6区C案)



	将来推計人口(平成47年(2035年))
第一区	454,997人
第二区	318,797人
第三区	332,236人
第四区	278,829人
第五区	470,391人
第六区	554,067人

試案D
(6区D案)



	将来推計人口(平成47年(2035年))
第一区	403,727人
第二区	370,067人
第三区	332,236人
第四区	278,829人
第五区	470,391人
第六区	554,067人